

来て観て大磯
催事の旅

ゆるやかに多世代の人たちがつながり
たくさんの笑顔がはじける

国指定重要無形民俗文化財 大磯の左義長

毎年1月初旬に行われる伝統行事、大磯の左義長(セエトバレエ)。
昔この辺りで目一つ小僧と呼ばれる厄神が、村人のおこないを帳面に書いてまわっていました。ある日のこと、夜が明けてしまい、慌てて帳面をセエノカミサン(道

祖神)に預けたまま帰ってしまったので、困り果てたセエノカミサンはその後、自分の家とともに帳面を燃やしてしまいました。これが左義長の始まりと言われています。



Sagicho in Oiso, Nationally-designated Significant Intangible Folk Culture Asset

Sagicho in Oiso is a traditional event held in the beginning of January every year. It is believed to have originated from a story about an evil entity called the "One-Eyed Brat" who was recording the behavior of the villagers. One day, he left a notebook with Seenokamisan (Travelers' Guardian Deity) and went home. Seenokamisan, wondering what to do with the book, set fire to his house along with the notebook.

神奈川県初のフルマラソン 湘南国際マラソン



The Shonan International Marathon, the first full marathon in Kanagawa Prefecture

The Shonan International Marathon was first held in March 2007. The starting and finishing lines are situated in Oiso, which is known as the origin of the Shonan Region. The marathon mainly uses the Seisho Bypass freeway for the course and no traffic is allowed on this day. Runners hear the sound of waves and feel a pleasant sea breeze. More than 20,000 runners participate and run along the scenic Shonan coastal line.

2007年3月から開催された「湘南国際マラソン」。スタート・フィニッシュは湘南発祥の地とされる大磯です。

コースは自動車専用道路「西湘バイパス」を使用し、この日は車は走行もなく、波の音が間近で聞こえ、海風に背中

を押されながら気持ちよく走れる、年に一度の特別なマラソンコースとなっています。

大会には2万人以上のランナーが参加し、景勝地・湘南の海岸線を疾走します。





相模の六社が集う祭り、毎年5月5日に開催。今から一千年以上前、国司が相模の天下泰平と五穀豊穡を神々に祈願したことが始まりと言われています。
 神揃山では、論争の模様を儀式化した座問答が行われ、馬場公園では、国司祭や三種の舞が奉納されます。 開催がペーシ

県指定無形民俗文化財

さがみ 11のまち
相模国府祭



Sagami Kounomachi, Intangible Folk Cultural Properties designated by the Prefecture

This is a festival in which priests from six shrines in the Sagami area gather on May 5th every year. The festival is said to have begun more than 1,000 years ago when a governor prayed to gods for peace and a bountiful harvest in Sagami country.

The festival includes Zamondou, which is a performance that ritualizes the dialogue amongst the six priests of the shrines and is performed on Kamisoroyama hill. Three kinds of traditional dances are dedicated to the gods of the shrine at Banba Park.

700年余りの歴史と伝統のある行事、御船祭。毎年7月中旬に開催されます。
 昔々、蛸之丞が海へ漁に出ると、海の中から光が発せられ、そこからタコが現れてきました。そのタコは船に上がり不思議と光輝く千手観音に姿を変えたのだそうです。その後その千手観音は、高麗寺に奉納されました。

町指定民俗資料(無形民俗文化財)

大磯御船祭 みふねまつり



Oiso Mifune-matsuri, Folklore Materials designated by the Town (Intangible Folk Cultural Properties)

Mifune-matsuri, an event held in mid-July annually, has about 700 years of history and tradition. Once upon a time, a fisher called Takonojo saw a beam of light from the sea and an octopus appeared. It jumped on board his boat and turned into a bright Senju Kannon (Thousand-Armed Avalokiteshwara, or goddess). The Senju Kannon was later celebrated at Koraiji Temple.



大磯の楽しいこと
体感するべえ

大磯港賑わい交流施設

「OISO CONNECT」

2021年大磯港に誕生

楽しそうだね。
おおいそ

OISO CONNECTは、町の周遊型観光の拠点として、漁協施設と賑わい創出施設を融合し、新たな魅力を創出する施設として、2021年3月にオープンしました。

漁協施設では、相模湾で採れた新鮮なしらすを加工・販売するほか、賑わい創出施設では、大磯の農水産物が購入できる物販エリアを設けました。

また、2階にある飲食コーナーにおいては、大磯港の風景をゆったりと楽しみながら、新鮮な魚料理を味わうことができます。屋外テラスでは心地よい潮風を感じながら、アオバトやカモメの観察、相模湾の青い海や高麗山・鷹取山の緑の丘陵など、広大な自然を満喫することができます。

Opens in Oiso Fishery Port in 2021

OISO CONNECT opened in March 2021, features the fisheries cooperative. The complex was designed as a touristic center that offers visitors an opportunity to see and feel the charms of Oiso.

Locally caught seafood and its products are sold at the fishermen's cooperative. A merchandise area sells local agricultural and marine products. You can enjoy fresh seafood dishes on the second-floor eatery with relaxing views of Oiso Fishery Port. At the terrace, you can see the panoramic view of the blue seas of Sagami Bay, the green hills of Komayama and Takatoriyama, and the flying flocks of Aobato in the sky, all connected with the ever-present ocean breeze.

施設名称「OISO CONNECT」とは？

大磯のモノや人、漁業や農業をつなげていく「結合装置」。つながることでそこから新しい価値や賑わいが生まれていく。人が訪れる新しい目的が生まれ、立ち寄る新しい生活習慣が生まれる。「つながる、つなげることで新しい価値を生み出す」という施設コンセプトから愛称がつけられました。



「OISO CONNECT」はみなとオアシスの登録施設です！

「みなとオアシス」とは、「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取組みが継続的に行われる施設を国土交通省港湾局長が登録するもので、「みなとオアシス大磯」は全国147番目、県内で4番目のみなとオアシスです。周遊型観光の拠点としてマチナカへの賑わいを図ります。





1階 物品販売エリア

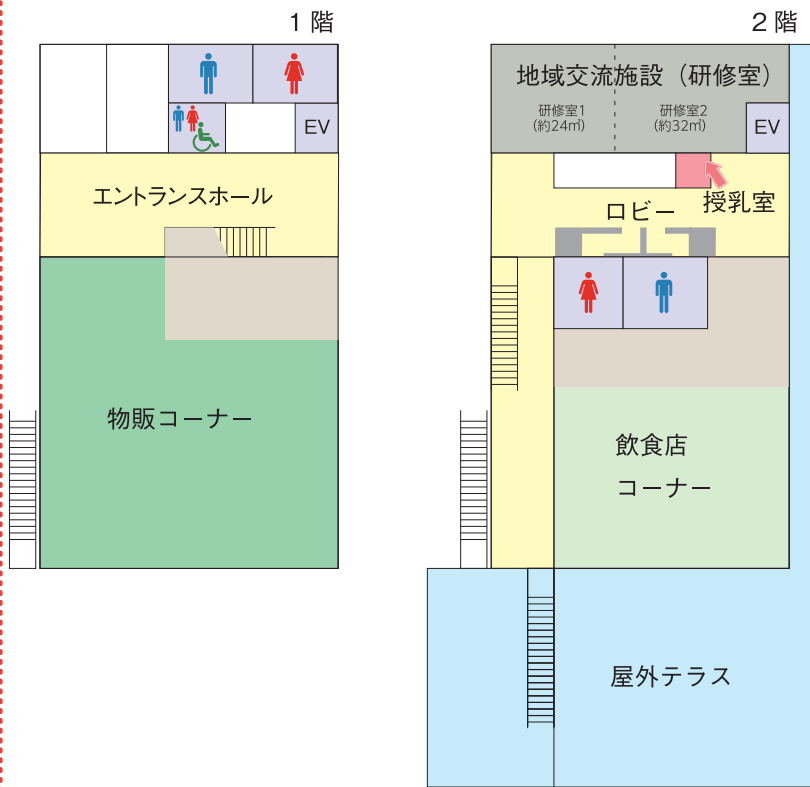
- 営業日 年中無休
- 営業時間 9時～17時 ※予定
- 販売商品
大磯で採れた鮮魚や農水産物、加工品等を販売。

2階 レストラン

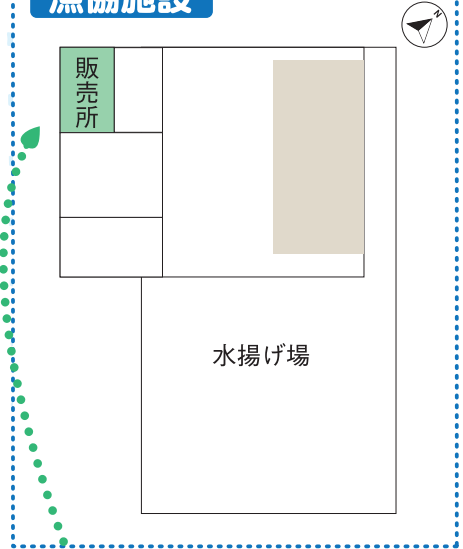
- 営業日 年中無休
- 営業時間 9時～17時 ※予定
- メニュー
大磯で採れた農水産物を使用した料理。



賑わい創出施設



漁協施設



漁協販売所

新鮮なしらす等を販売しています！
※漁の状況や季節によっては販売できない場合もありますので、ご注意ください。

クラフトやフード等、約200店が港に集まる県内最大級の朝市！
町内外問わず、大変人気のあるイベント！



毎月第3日曜日のお楽しみ

この町のマルシェは
実はこんなに魅力を
凝縮している

おいそいち
大磯市

天候・社会情勢等の事情により変更になる場合があります。

明治の歴史を今に伝える

明治政界の奥座敷 次世代へとつなぐ

2018年 明治元年から150年を記念して
国・神奈川県と連携

明治記念大磯邸園を整備・公開

公開日 2018年10月23日~12月24日

「明治150年」関連施策の一環として、国、神奈川県、大磯町との連携のもと、明治記念大磯邸園を設置することとなりました。明治期の立憲政治の確立等に貢献した先人の業績等を後世に伝えるため、歴史的遺産である旧滄浪閣（伊藤博文邸跡・旧李王家別邸）を中心とする建物群及び緑地の一体的な保存・活用を図っていきます。

The Meiji Memorial Oiso Garden created and opened to the public from October 23rd to December 24th in 2018.

The Meiji Memorial Oiso Garden was created as part of a project that commemorated the 150-year anniversary of the Meiji Era conducted by the government, Kanagawa Prefecture and Oiso town.

The project is intended to preserve and utilize historical buildings and green land, (including the former Souroukaku, which was a residence of one-time prime minister Ito Hirobumi,) in order to hand down the achievements of the predecessors who contributed to the foundation of the constitutional political system.

2018年に記念公開された歴史的遺産



旧大隈重信別邸・旧古河別邸 応接室
Former villa of Okuma Shigenobu / Former villa of the Furukawa family; Living room



旧大隈重信別邸・旧古河別邸 富士の間
Former villa of Okuma Shigenobu / Former villa of the Furukawa family; Fujinoma room



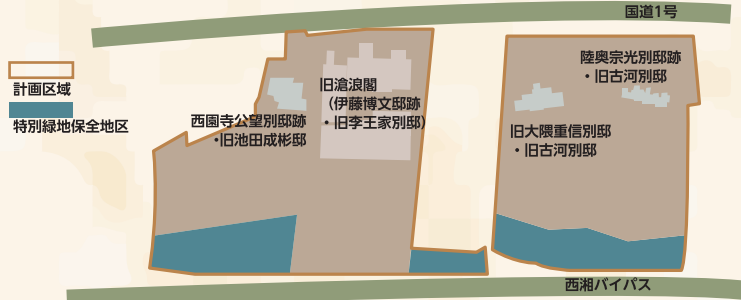
伊藤邸跡(旧滄浪閣)洋室「居間・客間」内装
The site of Ito Hirobumi's residence and the former king of Korea's villa (Former Souroukaku); Interior of the western style "living room/parlor"



陸奥宗光別邸跡・旧古河別邸 洗面室
The site of Mutsu Munemitsu's villa / Former villa of the Furukawa family; Bathroom

※2021年3月現在、建物内の見学はできません。

明治期の立憲政治の確立等の歴史や意義等を学ぶことができる、邸園文化を象徴する佇まいの中で、往時に想いを馳せることができる、邸園文化の発信と想い・交流ができるなど、空間構成を計画しています。



整備計画区域

Oiso in the Meiji Era

Oiso prospered as a post-town on the Tokaido route since the Edo Era, but was also an attractive resort with great views of Mt. Fuji and the Miura Peninsula. Matsumoto Jun, a doctor and politician, opened the first beach resort in Japan for medical treatment in 1885.

"Back-room of political circles in the Meiji Era" where major politicians gathered.

Following the opening of Touryukan, a Japanese style medical inn, the railroad service was launched with the opening of Oiso Station in 1887. Oiso became the center of Japanese politics as Ito Hirobumi, a central figure of the political circle moved into Souroukaku, his residence in the town, in 1897. Oiso was called the "Back-room of political circles in the Meiji Era" since former Prime Ministers Yamagata, Okuma, Hara, Kato, and other important Meiji political figures gathered in the town. Some made long stays, and some owned or built their own personal villas and residences.



2020年11月第一期開園

旧大隈重信別邸・旧古河別邸の庭園及び陸奥宗光別邸跡・旧古河別邸の庭園の一部区域を開園しました。

2020年公開された区域では、ツツジが植栽された斜面を下る回遊式の日本庭園をはじめ、大磯が明治期に別荘地として最も発展した時代の海浜別荘建築の外観などをご覧いただけます。



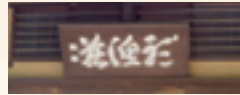
陸奥宗光別邸跡・旧古河別邸
The site of Mutsu Munemitsu's villa /Former villa of the Furukawa family



第一期開園区域エントランス
The entrance to the first-period open area



陸奥宗光別邸跡・旧古河別邸前
にある井戸
The well in front of the site of Mutsu Munemitsu's villa /Former villa of the Furukawa family



陸奥宗光別邸跡・旧古河別邸
玄関入口「聴漁荘」の扁額が
掲げられている
A tablet with the words "Chogyoso"
hangs over the entrance gate at the
site of Mutsu Munemitsu's villa
/Former villa of the Furukawa family



美しい日本庭園が広がる
Beautiful Japanese Garden



旧大隈重信別邸・旧古河別邸 五右衛門風呂
Goemon-furo style bath at Former villa of Okuma Shigenobu
/Former villa of the Furukawa family



旧大隈重信別邸・旧古河別邸 神代の間
Former villa of Okuma Shigenobu /Former villa of the Furukawa
family: Jindai-no-ma room



陸奥宗光別邸跡・旧古河別邸 大観腰掛の岩
Former villa of Okuma Shigenobu /Former villa
of the Furukawa family:
Taikan-Koshikake-no-iwa garden



陸奥宗光
Mutsu Munemitsu

出身地：和歌山県
生没年月日：天保15年(1844年)～明治30年(1897年)
伊藤博文の勧めで、2年間憲法を学ぶため、
米国、欧州に外遊。その後、第2次伊藤内閣
の外務大臣に就任し、不平等条約である治外
法権の撤廃を実現し、日本の国際社会におけ
る地位回復に貢献しました。
(写真 国立国会図書館デジタルコレクションより)



大隈重信
Okuma Shigenobu

出身地：佐賀県
生没年月日：天保9年(1838年)～大正11年(1922年)
明治21年(1888年)に第1次伊藤内閣の外務
大臣を務めた後、明治31年(1898年)に憲政
党を結成。内閣総理大臣として日本初の政
党内閣を組織しました。また、早稲田大学
の前身となる東京専門学校(明治15年創立)
の創立者として、教育にも尽力しました。
(写真 国立国会図書館デジタルコレクションより)

大磯昔ものがたり



大磯海水浴浜辺景 禰龍館繁栄之図
(大磯町郷土資料館 所蔵)
Scenery of Oiso Beach, Touryukan-Hanei-no-zu owned by the Oiso town
Folk Museum

明治時代の大磯

富士山、三浦半島などを望めるなど景観にも優れ、行楽の地としての魅力
をもち、また東海道の宿場町として江戸時代から栄えていた町には、明治18
年(1885年)に、松本順(医師・政治家)が日本で初めての療養を目的とした海
水浴場を開設しました。

明治政界の要人が集う「明治政界の奥座敷」

明治20年(1887年)に禰龍館とうりゅうかんが開館、また大磯駅の開業、鉄道の開通も重
なり、明治30年(1897年)、政界の中心人物である伊藤博文が本籍を大磯
に移してからは、伊藤の邸宅・滄浪閣が政治の中心舞台となっていきまし
た。山県有朋、大隈重信、原敬、加藤高明などの総理経験者ほか明治政界の
要人たちが次々と集まり、長期滞在や別荘を所有するようになり、別荘や邸
宅を築いたことから「明治政界の奥座敷」と呼ばれるようになったのです。

「大磯参り」と言われ、多くの政治家が邸宅を訪れた 悠久の歴史を感じさせる、落ち着いた佇まい



「旧吉田茂邸地区」庭園

兜門、心字池、モダンな日本庭園、さらに吉田茂が愛し自ら手入れをされたとされる薔薇の庭園、散策など季節を通して楽しむことができます。公園として開園しています。



吉田茂元首相銅像
Bronze Statue; Former Prime Minister Yoshida Shigeru



旧吉田茂邸と庭園 Former residence and garden of Yoshida Shigeru, former prime minister



七賢堂 Shichikendo



心字池や築山のある日本庭園
Japanese garden with Shinji-ike pond and Tsukiyama, an artificially created small mountain

昭和30年代に

近代数奇屋建築で有名な吉田五十八が設計した新館をメインに再建 旧吉田茂邸

旧吉田茂邸は戦後の内閣総理大臣を務めた吉田茂が居住していた邸宅で、昭和20年（1945年）より晩年を過ごしました。

吉田茂が政界引退後も多くの政治家が邸宅を訪れ「大磯参り」と言われるなど、国内外の要人が招かれました。元西ドイツ首相アデナウアー氏や、皇太子御夫妻時代の現上皇・上皇后も訪れました。

また、吉田茂の没後には、大平首相とカーター大統領の日米首脳会談が行われるなど近代政治の表舞台としても利用されました。

現在の旧吉田茂邸は、平成21年（2009年）3月に焼失した建物を復元させたもので、近代数奇屋建築風の総檜造りのかつての本邸は、建築家吉田五十八の設計のもと、京都の宮大工により建設されました。



吉田 茂

吉田茂（明治11年(1878年)～昭和42年(1967年)）は、戦前に外務官僚として諸外国での領事、書記官、大使などを歴任し、戦後は通算5期（6年2か月）にわたって内閣総理大臣を務めた戦後の代表的な政治家です。この間、昭和26年(1951年)には、サンフランシスコ講和条約の締結を実現し、日本の国際社会への復帰を果たすなど、戦後復興を成し遂げ、現在の日本社会の基を築き方向づけたと言われています。

また、吉田茂は、池田勇人や佐藤栄作など、多くの後進を育ててきたことでも知られ、本邸は彼ら「吉田門下生」がよく訪れていた場所でもあります。（写真 国立国会図書館デジタルコレクションより）



歴史の旅

来て観て大磯

朝夕、日課のようにこの名園を散歩したと言われ、首相を辞めてからの吉田茂は、ミミズや毛虫など見るのも抵抗をみせていましたが、ハサミや割り箸を手にして自ら維持管理に精を出されたそうです。



提供/神奈川県公園協会

吉田茂が愛した薔薇の庭園

アカマツは枝葉に優しい印象があることから「雌松」または「女松」、クロマツは「雄松」または「男松」と称され、特徴としては新芽が茶色くなっているのがアカマツで、クロマツは白くなっています。

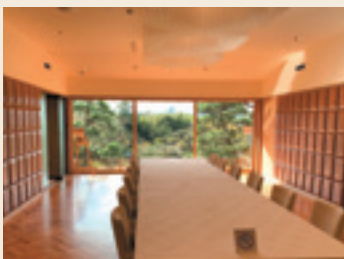
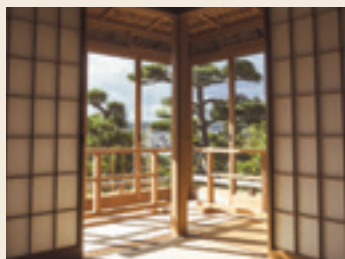
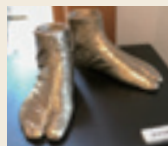


旧吉田茂邸の庭園に植栽されている希少なアカマツ



この建物から見る景色は
冷静に判断する力と
パワーをみなぎらせる

白縁のフジエ



町の調査研究を担う

郷土資料館



調べてみるべえ
昔の大磯町がよくわかる
考古・歴史・民俗・自然や
収蔵資料も見れるべえ



郷土資料館 Oiso town Folk Museum

相模湾の青い海、高麗山・鷹取山など緑の丘陵が、様々な文化を育んできました。郷土資料館では「湘南の丘陵と海」という豊かな風土の広がりテーマとし、考古・歴史・民俗・自然の4分野を中心に調査研究を行っています。その成果を常設展や企画展、刊行物などの形で公表するなど、教育普及活動もしています。

■常設展 展示替えを行いながら、随時公開をしています。

■特別展・企画展 大磯町ゆかりの吉田茂に関する資料をはじめ、明治政界の奥座敷などにまつわる展示会も行っています。

海水浴場発祥の地

明治18年（1885年）松本順により大磯海水浴場が開設されました。

当時の海水浴は、潮流で身体に刺激を与え海辺の清涼な空気を吸うことでした。泳ぐというのではなく、岩の所々に挿してある鉄棒につかまり、海水につかっているだけで、いわば潮湯治のようでした。



大磯海水浴 富士遠景図
(大磯町郷土資料館 所蔵)

郷土資料館では、歴史や自然に関する各種講座を年間を通して実施しています。また、各種学校からのご希望にあわせて、担当の学芸員が教育活動の支援を行っています。



古文書解読クラブ

郷土資料館が所蔵する古文書を解読しながら、地域の歴史を学んでいます。



写真整理クラブ

郷土資料館が所蔵している写真資料をデジタル化して整理しています。



古文書裏打ちクラブ

裏打ちの技術を学びながら、郷土資料館で所蔵する古文書の裏打ちを行うワークショップです。



Check!

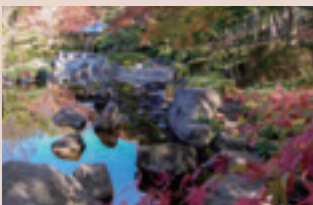
郷土資料館では、研修室などの施設を、研修や会議、展示などの活動にご利用いただくことができます。

県立大磯城山公園

Prefectural Oiso Jyoyama Park



「城山庵」で抹茶のおもてなしを受けたり、高台から箱根連山や富士山を一望することもできます。また一年を通して、季節の花も咲き誇り、海から流れてくる風とともに、小鳥のさえずりを聞きながら、のんびり散策を楽しむことができます。



茶室「城山庵」
Tea Ceremony House
"Jozan-an"

県立大磯城山公園展望台
関東の富士見百景スポット
Prefectural Oiso Jyoyama Park
Viewing Platform
The fujimi hyakkei (the best 100
views of Mt. Fuji) in Kanto region



歴史の旅

来て観て大磯

茶室風に作られた小座敷の書齋で執筆

町屋園と呼ばれた旧宅 旧島崎藤村邸



旧島崎藤村邸庭園 Garden, former residence of Shimazaki Toson, a poet/novelist

日本の近代詩歌の中で最も愛される作品などを手懸けたロマン主義の詩人 島崎藤村

まだあげ初めし前髪の
林檎のもとに見えしとき
前にさしたる花櫛の
花ある君と思ひけり

『若菜集』初恋より

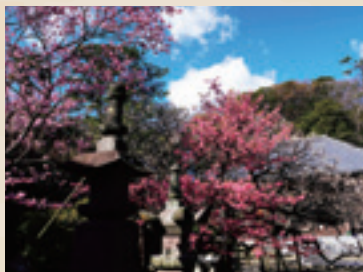
町屋園と呼ばれた藤村の旧宅は、三間の平屋建ての民家となっており、外壁は杉の皮で施され、引き戸には大正ガラスという現在では希少な素材が使われています。小さく素朴な冠木門、割竹垣に囲まれた小庭、カナメやモチの若葉、朝顔や萩、湯河原から取り寄せた寒椿など、四季を通して花を咲かせる小庭の眺めは、藤村の心の慰めだったそうで、この家を「静の草屋」と呼んでいました。簡素を信条としていた藤村の気配りも今も感じられます。



旧島崎藤村邸 Former residence of Shimazaki Toson



藤村も愛でた梅の花が2月上旬頃より境内一面に咲き誇ります



地福寺 Jifukuji Temple

地福寺には、夫妻の墓碑が梅の古木(樹齢100年〜200年)約20本に囲まれて建てられています。命日の8月22日には、「島崎藤村忌」が執り行われ、藤村ファンの方など多数の方が墓参、献花に訪れます。



町立図書館には島崎藤村の蔵書がたくさん並んでいます。さらに奥深く、世界観を知ることができます。



明治5年(1872年)～昭和18年(1943年)。生まれは信州木曾の馬籠村(現・岐阜県中津川市)。藤村は、晩年の約2年半を大磯町にて過ごしました。

明治30年(1897年)に、26歳という若さで『若菜集』などを出版。中でも『落梅集』の一節にある『椰子の実』や『千曲川旅情の歌』は歌としても親しまれています。三間の一室は茶室風に作られた小座敷で、静子夫人は書齋とよび、藤村はこの部屋で畢生の大作『東方の門』を執筆しました。そのほか、主な作品として、『破戒』、『夜明け前』、『千曲川のスケッチ』、『家』などが有名です。(写真 国会図書館デジタルコレクションより)

大磯 島崎藤村 検索

古来より恩恵にあずかってきた

開運に引き寄せられ
運気アップ

相模國総社 六所神社

源頼朝、小田原北条家、徳川家康より篤い崇敬
県内のご神像では最古のひとつ

崇神天皇の頃（紀元前1世紀頃）、出雲地方より石神台という山頂に櫛稲田姫命、素戔嗚命、大己貴尊（天國主命）を守護神として祀り、それを「柳田郷（六所神社旧名）」と名付けました。大化の改新後、養老2年（718年）になると、現在の場所に移り、それから1300年もの歴史をつないでいます。

平安時代には相模の国府（相模國・中心に現県庁）が柳田郷に置かれ、地名も「相模の国府」とされました。また、国司（行政機関）が京都から派遣され、祭祀一致（祭祀と政治とが一元化）であった時代に国司の巡拜という風習から、国の大きなお社を順番にお参りしてまわりました。相模國は一之宮寒川神社、二之宮川勾神社、三之宮比々多神社、四之宮前鳥神社、平塚八幡宮の五社の分霊を合せ祀り「相模國

県指定文化財。一木造りで平安時代後期に仏師によって彫られた作。保存を維持するために4年に一度オリンピックの年に公開予定。



男武装神形立像75.1cm
素戔嗚命と推定
Armed God Standing Statue, 75.1cm height
Presumed to be Susanoo-no-Mikoto



女神形立像68.1cm
御祭神櫛稲田姫命と推定
Standing Goddess Statue, 68.1cm height
Presumed to be the god of festivals;
Kushi-inada-hime-no-mikoto



安土桃山時代の粋を集めたご本殿
The main hall with the best treasures collected from the Azuchi-Momoyama era, the 16th Century



小田原北条家が造営したご社殿（西暦1500年代前半）
相模の神々のための五つの御扉が特徴
The shrine built by Odawara-Hojo Clan in the early 1500's
The Five doors specially created for the sake of the gods in Sagami



パワースポット
参道の大樹（樹齢600年）

安全祈願をしたなど記録が残されています。

総社」が成立します。六か所の神社が合わさることから六所宮とも言われるようになりました。

鎌倉時代に入ると、源頼朝が戦勝祈願を行い、また、戦国時代には、北条二代目氏綱が現在の本殿を建築、北条四代目氏政が現在の本殿の修復、徳川家康が

運気をあげて
ご利益をもらおう

幸せを呼ぶ厳選されたパワースポットめぐり10選

気になるちょっと
ミステリー

◆大磯駅

◆大運寺

運命が導いた!? 何かと何かがお500年以上の時を経て合体!!

◆延台寺

ある方への深い愛の導きが...

◆高来神社

あの徳川●●の神影に導かれ...

◆高麗山

?大磯浦の守護...

◆神揃山

何の力が導いて...

◆西長院

是非とも祈願したい...

◆諏訪神社

触れてもいい?...

◆六所神社

まさかのヤマタノオロチの神話が?

◆鷹取神社

家康の鷹も導かれた?...

謎を探ってみるべえ



大磯 パワースポット 検索

大しめ縄が結ぶ出雲との縁「大黒締め」



大しめ縄 Shimenawa, sacred rope, hung in the Main Hall of the shrine

「ご本殿に飾られているしめ縄は、島根県出雲大社のしめ縄を手掛ける職人たちによる手づくりです。大しめ縄の長さは約4mで、重さは約250kg。平成2年（1990年）、第十六代目宮司 柳田直継さんの奥様である美和さんが、島根県松江市の八重垣神社に訪れた際、大しめ縄の美しさと迫力を合わせ持つ佇まいに感銘を受け、島根県飯南町の企業組合に製作を依頼。職人たちは春から専用の稲「あかほもち」を栽培し、8月初旬に青いまま刈り取って乾燥させた稲わらを使用。職人が10日ほどかけて編み込んだもので、4年〜5年に一度、大しめ縄を新調しています。

北条家と石垣

戦国時代、小田原の北条氏綱が石積み専門の穴太衆あなつしやうに石垣を造らせました。その土木技術は素晴らしく、関東大震災や伊勢湾台風などの大災害時においても、崩れることがありませんでした。後にその場所にご社殿を建て、石垣だけは崩してはならぬと現存したまま現在に至っています。



小田原北条家寄進の石垣
Stone wall; a gift from Hojo Clan



第十六代目宮司 柳田直継さん
Mr. Yanagida Naotsugu, the 16th Chief Shinto Priest

相模の歴史を物語る相模国府祭

さがみこうのまち
（関連ページ）



▲鶯の舞 平安時代、国司をはじめ貴族をもてなすための舞で、鶯の舞は天下泰平を、龍の舞は五穀豊穡を、獅子の舞は災厄消除を祈願すると伝えられています。



六所神社例大祭と櫛魂まつり

この日に湯津爪櫛お守りを受けると、倍のご利益があると言われています。毎年、櫛くしにちなみ9月4日前後の日曜日に催行され、午後には大祭式典、夕刻からは神楽殿で奉納演奏が行われます。また、人形、櫛ならびに家に伝わる古い物等のお焚き上げ祭が行われ、たくさんの方で賑わいます。

女性に嬉しい



湯津爪櫛お守り

古代より、櫛には厄災を除く大変強い霊力が籠ると言われ、昔より櫛は女性の守護神とされています。

ご縁を結ぶ



縁が縁を呼び最近では、行き先の病院で良い先生に巡り会えたなどご縁のお守りとしても男性用も人気を呼んでいます。

- 一、このお守りを女性が身に付けると、奇魂の霊力が増し不慮の災難事故、いやがらせから、身代わりとなって守ってくださいます。
- 一、このお守りを女性が身に付けると、「ご縁の良縁の道が開かれます。
- 一、このお守りを女性から困っている男性に真心込めて念じ贈ると、男性に霊力が湧き、困難打開の道が開かれます。
- 一、このお守りを男性から女性に贈ると「かけがえのない大切な女性の証となります。

その昔、六所神社の大神様、櫛稲田姫命は八岐大蛇という怪獣に食べられてしまうという神話がありました。櫛稲田姫命が絶体絶命の時に素戔嗚命が助けに来ます。櫛稲田姫命は湯津爪櫛に体を交え、素戔嗚命の髪に挿し、八岐大蛇を退治したので、(古事記より) そのおかげで、湯津爪櫛のお守りは、櫛稲田姫命の強い霊力が籠る高い神秘力を持つお守りとなったのです。



自然の恵みからいただいた宝物



慶長時代の東海道から旅人を見続けてきた
東海道松並木

一年を通して
楽しませてくれる花々

おいそ一年花めぐり

3

桜

Cherry blossoms
神揃山・高来神社・大磯駅等

4

5

ハマヒルガオ

Sea bells
こゆるぎの浜・北浜海岸

6

7

8

9

10

キンモクセイ

Fragrant olive
県立大磯城山公園

11

モミジ

Maple
県立大磯城山公園
高麗山

12

1

梅

Plum blossoms
地福寺・正泉寺・蓮花院等

2

モクレイシ

Microtropis japonica
高麗山

ミカンの花

Tangerine blossoms
富士見地区

ひまわり

Sunflowers
大磯運動公園

彼岸花

Red spider lily
血洗川上流・中流

サフラン

Saffron
大磯町役場

十月桜

Jugatsu-zakura blossoms
県立大磯城山公園

サザンカ

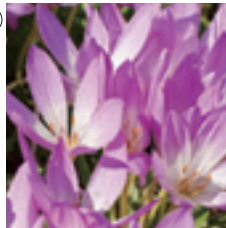
Camellia
県立大磯城山公園

水仙

Narcissus
宝前院
東海道松並木

これは大磯の町に咲き誇る左記の花の写真の一部です
何の花の写真かわかりますか？（答えは32ページ）

①



②



③



④



⑤



知っていますか？
これは何の花？



大磯 花の見頃 検索



小さく可憐で枝に花が絡みつくように密生して咲くのが特徴 桜の新しい園芸品種 〈大磯小桜〉

大磯小桜の認定

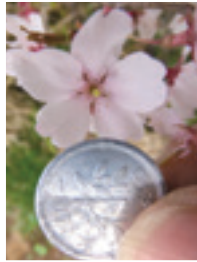
平成30年（2018年）、「日本花の会」の「桜の園芸品種認定制度」に大磯町が申請。約一年の認定検査を受けて、大磯小桜として認定されました。

命名にあたっては、地元の大磯で「いつまでも愛される桜になつてもらいたい」という想いで〈大磯小桜〉とつけられました。

個性的で気ままな小桜 子どものように手をかけて

町在住の齊藤廣昭さんは、今からおよそ30年程前、長野県にある高遠の桜の花見に行ったときのこと。ソメイヨシノより小ぶりで濃いめの花びらが美しい、コヒガンザクラが一面に咲く姿に感銘。帰り際に立ち寄ったそば屋で、タカトココヒガンザクラを増やそうと挿し木をしている話を聞き、自分で育ててみたいと構想を始めました。

枝に絡みつくように密生して咲き、一元玉より小さい可憐な花なので、遠くから眺めるとガマの穂のようにも見えます。できるだけ、近くから鑑賞するのがお勧めです。



◀ 福島の樹齢300年を超える原木
(備中足守藩分領瀬上陣屋跡)
親木を見るためのパストゥアーも計画。



その後、専門家など色々な方から情報を集め実際に挿し木を試みましたが、ことごとく失敗。他の品種では可能だったことが、この桜に関しては発根することは難しかったのです。
そんな試行錯誤している中、三年後やっと一本発根しました。しかし、その後、手入れの仕方などの過ちなどにより枯れさせてしまいました。また挿し木で発根を望みましたが、なかなか叶うことはありませんでした。

その後、実家のある福島の果樹園で、苗木（接ぎ木）を9本作つてもらうことに。それを、公園が完成した平成16年（2004年）に大磯運動公園へ植栽しました。
育成に関する草刈りや肥料などは自分たちで行っていました。ところが、二年くらいたった頃、台風が直撃。ホームセンターで杭などを用意し、桜の幹が倒れないように補強もしました。

「デリケートな小桜なので、およそ2メートル以上の高さになるまでは世話が必要なんですよ。」そういった手入れもあり、四年が経過。そこで咲き誇った桜は地域の人から、感動をよびました。

「花が咲き始めると、周りの人から『なんて綺麗なの』と桜の見映えに感銘をしてくれたことが大きな喜びですね」と嬉しそうに齊藤さんは語られました。

できることはやりたい 観光の一助に

「ソメイヨシノとの違いをわかって関心を持ってもらえると嬉しいですね。また、明治記念大磯邸園などの観光の一助になればいいですね。皆さんが笑顔になれるように、できることはやっていきたいです。」
「現在挿し木の苗木25本を育成しています。これから皆さんと共に大磯小桜の成長を見守っていききたい。」と語る齊藤さん。趣味は若い頃はヨット・弓道・登山を楽しみ、現在では音楽鑑賞と多彩。これからもたくさんの方の元氣と笑顔を町に届けてくれることを期待しています。



どこで見られるんだべえ？

大磯運動公園南側斜面(35本)
星槎湘南大磯キャンパス
駐車場(23本)

品種名：大磯小桜（オオイソコザクラ）
Cerasus spachianavar. spachiana 'Oiso-kozakura'
認定番号：第020号 認定日：令和2年（2020年）2月1日

